

## 日本一住み良い街の実現へ!

皆様のご支援のおかげで4883票、3位で初当選する事が出来ました。

本当に感謝申し上げます。新人ではありませんが、様々な組織、現場での経験を活かし市民ファースト、皆様のパイプ役としてご要望を真摯に受け止めお応えし、コロナ対策を含め頑張っております。



2月議会では、北九州・若松を愛する会（1人会派）を代表して一般質疑・市長質疑・常任委員会（経済港湾委員会）での質問を致しました。

一般質疑では選挙公報でも表記している7つのお約束の中から三つ質問致しました。

今回は一般質疑の様子、ご報告をさせていただきます。

一般質疑の動画はコチラ➔



## 若松北海岸の観光地としての可能性について

福岡県糸島市は海あり山あり、お洒落なカフェやレストラン、工房、窯元やパン屋が点在し、福岡市に隣接しており、市内から30分程度で移動できるため、多くの方々の憩いの場として、日帰りプチ旅行、ドライブに人気の観光スポットになっています。平成30年の観光客は約683万人に上り、産地直売所の来場者が最も多いそうです。特に、市内で生産された農林水産物や特産品は、JA直売所では日本一の売上高を誇る「伊都菜彩」をはじめ、市内約20か所の直売所でも販売されており、市内外の買い物客で賑わっています。観光農園や貸農園は市内に10か所以上あり、農林水産業と観光を融合させたグリーンツーリズムやブルーツーリズムも展開されています。こういったことが評価され、イギリスの情報誌「MONOCLE(モノクル)」が実施した「輝く小さな街」の2021年ランキングで、世界第3位に選ばれました。



若松北海岸は糸島と同じ玄海国定公園内に位置し、近隣には年間約50万人が訪れるグリーンパーク・ひびき動物ワールド、年間約10万人が訪れる脇田のフィッシャーマンズワーフや釣り桟橋があり、本市を代表する自然海水浴場である岩屋海水浴場では海水浴、マリンスポーツ、釣りが楽しめ、ポテンシャルの高い食材があり、夕日の撮影などインスタ映えで賑わっている場所です。また、風光明媚な遠見ヶ鼻周辺は妙見埼灯台、御寄神社、福岡県天然記念物の芦屋層群等と決して糸島にも引け取らない自然のお宝が沢山あります。そこでお尋ねします。

まず1点目ですが、以前、地元の漁業、農業従事者から「なぜ若松北海岸は糸島みたいにならんのね」と相談を受けたことがあります。私自身、若松北海岸は九州はもとより、全国でも誇れる観光スポットに成りうる場所だと考えています。本市は、若松北海岸を観光地としてどのように位置づけ、PRしていくつもりなのか、お尋ねします。

次に2点目ですが、産地直売所の来場者が一番多い糸島の状況を考えると、まずは国道495号沿いに道の駅を設置すべきと思いますが、見解を伺います。

次に3点目ですが、過去に国の予算で、岩屋海岸周辺において、海浜公園やヨットハーバー等を整備する構想がありましたが、残念ながら頓挫してしまいました。コロナ禍前のインバウンドの状況やアフターコロナに向けて、地元漁協の方々の観光に対する意識がさらに高まり、観光組合等との連携体制も構築されるようになりました。漁業振興、観光振興のために、海の資源を活用したブランド化や養殖、体験観光に対する支援が必要と考えますが、見解を伺います。

これらの質問に対し、市長より前向きな答弁を頂きました。

